

第3回 村岡新駅周辺地区まちづくり検討会議 議事要旨

日 時 ■ 2020年（令和2年）2月21日（金）午後2時から午後4時

場 所 ■ 藤沢市役所 本庁舎7階 7-1会議室

出席者 ■（敬称略）

会 長：柳沢 厚

副会長：中島 直人

委 員：（五十音順）相澤光春、饗庭功、大森純一（代理）、加藤直人、佐保田俊英、竹村裕幸、林岡治、林喜太郎、松窪 昌幸（代理）、三上雅之、八文字弘行、渡辺敬介

オブザーバー：神奈川県 鎌倉市

事務局：都市整備課

傍聴人数■ 8人

議事次第■ 1 開会

2 議事

① 村岡新駅周辺地区の都市像・空間像について

② 実現化スキーム、まちづくりの効果について

3 その他

4 閉会

配布資料■ 【資料1】村岡新駅周辺地区まちづくり検討会議の目的及び検討の流れ

【資料2】村岡新駅周辺地区における都市像・空間像のまとめについて

【資料3】実現化スキームと全市的效果について

【参考資料】深沢地域整備事業の土地利用計画（素案）

議事概要■

① 村岡新駅周辺地区の都市像・空間像について

○事務局より資料2と参考資料を説明。

○具体的な内容には踏み込めていないが、大きな方向性は本日共有したい。

○中間とりまとめとして、大きな方向性に合意を得たい。具体的な方法については来年度も継続的に検討を進めたい。

ご意見等（項目に分けて整理しています）

〔都市像について〕

- クリエイティビティは皆で共有できるのではないか。世界を見ながら研究開発していくクリエイティブな人材を引き付けるような場が「尖る創造」。本来一人一人が持っている創造性を最大限引き出すような環境や仕掛けがある街が「広がる創造」。クリエイティビティを育てるには、学校のように決められた教育を与えられる場ではなく、自由な空間が与えられ、一人一人が自分で使い方を考えイメージを実現できるような場が必要である。
- 「広がる創造」を都市像にまちづくりを進めるのは野心的な設定。こういった計画では「特定の機能を決めてしまいがちであるが、何に使うかはっきり決まらないような曖昧な場が街の中にあるのも大事ではないか。「尖る創造」をがんばる街はいっぱいあるが、垣根を感じさせない「広がる創造」に取り組んでいる街はまだ少ない。
- 今の時代、人が主役。人が自己実現をし、様々な可能性を持った方が集まる街が必要。従来型の企業誘致ではなく人を誘致していく考え方を強調出来ると良い。
- 第2回ではかなり尖った議論でスタートし、そこで出た意見を踏まえて整理されている。様々な内容がたっぷり入っていてボリュームミーな感じがする。
- 「創造」に対して、企業として何が出来るか検討をしていきたいが、p5の考え方に基づいて、地域に貢献する立場でまちづくりに関わっていきたい。モノづくりの会社の立場から出来ることは何か、或いは、物理的な面からもまちづくりへの関わりを考えていきたい。
- わくわくする。考え抜かれた言葉がある。村岡はどういう街を目指しているのかが見える。「創造」はただ天才・変人の研究者が集まれば出来るのではなく、必ず深いコミュニケーションの繰り返しが必要。「広がる」がポイント。時系列的な広がりエリア的な広がりがある。時系列的な広がり未来に向けた未来人材の育成。エリア的な広がり世界から受信し発信していく。
- 藤沢駅や辻堂とは異なるコンセプトで素晴らしい。他市や市内の違う地域からも人が来て一日過ごしたくなる街になってもらいたい。
- ソーシャルキャピタルが確立している地域に創造力のある方々が加わることで新しい交流が生まれる。非常に興味深い。
- 「尖る・広がる創造」というのはあまり聞いたことが無いコンセプト。刺激の連鎖が生まれるのは非常に面白い。このまちづくりが全市的に意義のある事業であることをアピールしていく必要があるが、それに大きく寄与するのではないか。村岡地域の方々のプライド醸成はもちろん、村岡のある藤沢市に住んでいるというプライドも生まれるようなまちづくりが期待される。
- 都市像の「創造」に「ものづくり」という視点が抜けている。ものづくりは一番の創造であり、位置づけてほしい。

○資料2全体としてこのレベルでの表現は悪くないのではないかとと思われる。

[まちづくりを進める上での重要なテーマと導入機能イメージについて]

- 村岡はもともと防災に強いまちづくりを目指している。安心安全のまちづくりの中で、災害時の飲料水の確保など防災力の強化を意識した施設整備の検討を進めてもらいたい。
- 災害というキーワードも重要。ただハード整備だけで対応するのではなく、レジリエンスが重要でここをもっと具体化していけると良い。
- この地区は地下水が上がってきており、「緑を生かす」という点では維持管理が大きな問題になる。その点を十分加味してもらいたい。
- 4つのテーマを三角で示しているが、創造性は上二つだけに繋がるのではなく、安心安全にも新しい交通にも繋がるものではないか。グリーンインフラなどはまさにこれら4つにも絡んでくる。創造的な安心安全や創造的な交通のあり方も考えていければ、より創造性の高い地区に繋がるのではないか。深沢はトランジットモールが途中で切れているが、村岡側と繋げていけると良い。
- 導入機能イメージについて、どのような企業のどのような空間が出来てくるのか、どのような生活の場や住宅が出来るとか、がもう少し具体化した形で見えてくると良い。
- 既にあるものづくりの企業やデジタルファブリケーションなど具体的なものづくりの機能も入っていた方が良いのではないか。

[空間づくりを行う上での基本的な考え方について]

- 「湘南 i-Park の芝生広場」「交通広場の横の公園」「シンボル道路に面した神戸製鋼」など、個々に性格付けをした創造の場が緑の軸線上に繋がること、象徴的な空間になり、強みとなるのではないか。パーソナルモビリティの活用も含めて軸を強調していけると良い。
- 「空間整備方針」について、方針①は、床が埋まれば良いのではなくどういう活動を展開してくれる企業や人に来てもらいたい、ということを行っているのだろう。方針②の「未来に続く魅力ある空間づくり」は何が言いたいのかわかりにくい。

② 実現化スキーム、まちづくりの効果について

[実現化スキームについて]

- ここではUDC（アーバンデザインセンター）を本気で考えた方が良いと思う。きちんと検討してほしい。企業と地域、行政はもちろん、大学が加わることで継続的な取り組みになる。ここでやれば非常に面白い。UDCが入ることの効果を示せると良い。

- 実現化スキームについては、街全体で取り組んでいかなければならないというのはよくわかるが、鎌倉市や他の拠点とどういうつながりを作るかも必要である。
- 御霊神社をどう整備して発信していくのか。観光も文化もスポーツといった情報発信の拠点としての役割を担ってもらいたい。湘南深沢まで本当に歩いてもらえるか。どういう整備をするのが重要。

[まちづくりの効果について]

- ここが市民の皆様にとっても大事なところだが、曖昧過ぎて、何をしたいのか、それが市にとってどういう恩恵、影響があるのか、具体的に示してほしい。
- 例えば税収にどういう課題があり、それがどう変わっていくのか、或いは出資したものがどう長期的に回収されていくのかなどというように、伝える工夫が必要。エビデンスが足りない。
- 外から期待されていることに対してどう答えられるかという点で書き込めると良い。都市マスや総合計画に掲げられたこの目標に寄与するなどといった筋書きが必要ではないか。これでは自画自賛でしかない。

[その他]

他地区等との連携

- 地域が活性化するためには地域間の交流も大きなポイント。両地区の連携が街づくりの中でどのように進められるかが重要である。
- 深沢との連携というのを、具体的にどのように考えていくのか。

その他

- 最初から繰り返し言っているが、事業を出来るだけ早く進めてもらいたい。
- 世界に冠たるホットスポットになってもらいたい。シカゴやシンガポールをライバルに、それくらいのスケール感のことをみんなで取り組んでいきたい。

③ まとめ（会長）

- 色々ご意見はいただいたが、大きな方向性としては概ねオーソライズを得られたのではないかと。今日出たご意見、特にまちづくりの効果については大幅にやり直しがあると思うが、どのように反映するかは、会長に一任いただいてよいか。（異議なし）それでは、これで一度、中間とりまとめをした上で、来年度、次のステップに進みたい。

以 上